

◎ふるさと文化の館 行事カレンダー

9月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	△5	6	7	8	9	10
11	△12	○13	14	15	16	17
18	19	△20	21	22	23	24
25	△26	27	28	29	△30	

△…休館日 ○…ちびっこおはなし会

「ちびっこおはなし会」では、乳幼児を対象とした絵本の読み聞かせや手遊びを行っています。

□時間：午前11時から午前11時20分まで

□場所：こどもの笑顔ひろば(ふるさと文化の館内)

10月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	△3	○4	5	6	7	8
9	10	△11	12	13	14	15
16	△17	18	19	20	21	22
23	△24	25	26	27	28	29
30	△31					

ふるさと小野町会

ふれあい通信



原田 光子

はらだ・みつこ

- 南田原井出身
- 神奈川支部

「原橋」を思う

私の母はこの4月、満開の千本桜に見送られるように、98年の人生を終えました。花が大好きで、子どもたちと一緒に見たかったのだと思います。

昭和35年、私は15歳で就職が決まり、ふるさとに別れを告げる日、「原橋」から夏井川を眺めながら母と最後のひとときを過ごしました。母は何を思ったのか「社会に出たら嫌なことがたくさんある。そのようなときは、ここ原橋からすべて吐き出し、川に流して帰ってこい。少しは楽になるから」と言いました。

母は5人の子どもを育てる中でどれほどのことを夏井川に流してきたのだろうと思いつつながら原橋を後にし、上京しました。

「原橋」は、実家がある南田原井字大和久から夏井駅までの途中、夏井字原と南田原井の境にあり、言わば南田原井の入口のひとつです。当時は交通の便も良くなかったので、多くの人たちが夏井駅までの約2キロを歩いていました。原橋はその中間付近です。就職のため上京し、しばらく川崎市にいましたが、その後、相模原市に住居を移して45年になります。当時は国鉄横浜線も単線で、大雨が降ると

電車が止まることが多々ありましたが、現在は便利になりました。近くには青山学院大学のキャンパスがあり、駅伝の選手が練習で走っている姿を見るのができ、選手たちの頑張っている姿に元気をもらっています。

母の葬儀に際して、たくさんの思い出がある「原橋」を思い起こした次第です。昨年の相模原市の桜祭には、小野町からも出店していただきました。小野町会会員など大勢の方が心待ちにしており、私も何らかの手助けになればと思い参加しました。